

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 4 月 18 日現在

機関番号：34310

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2010～2011

課題番号：22720120

研究課題名（和文） 現代アメリカ文学における歴史の概念について

研究課題名（英文） The Study of the Concept of History in Contemporary American Novels

研究代表者

藤井 光 (FUJII HIKARU)

同志社大学・文学部・助教

研究者番号：20546668

研究成果の概要（和文）：現代アメリカ文学において、物語の構築が時間を構成する行為であるという洞察が共有されていることを手がかりとして、その「物語の時間」が歴史・国家・アイデンティティとは異なる論理で構成されていることを中心として研究した。また、研究の対象とした作家のうち二名の小説の翻訳を刊行した。

研究成果の概要（英文）：This study of contemporary American literature is focused on the shared insight that narrative is an act that practices a specific mode of time, which often defies the logic of history, nation and identity. This pragmatic view and its ahistorical nature defines the turn-of-the-century American novels.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	600,000	180,000	780,000
2011年度	500,000	150,000	650,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,100,000	330,000	1,430,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・英米・英語圏文学

キーワード：現代アメリカ文学、物語、時間、歴史

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 1960年代および1970年代のポストモダン文学は、テキストが言語あるいは表象の産物であることを前面に押し出すことによって、「歴史」という概念に対抗したと言ってよい。そこでは、旧来「歴史」と呼ばれ、自明とされてきたものが、その実、表象や言語活動の産物に過ぎないものと見なされ、フィクションが歴史を書き換える行為を思想的に支えていたと言える。

(2) 一方で、1980年代後半からの現代文学

においては、上記のようなアプローチではなく、物語行為が創り出す時間という観点から、「歴史」という問題に取り組む姿勢を見出すことができる。旧来のポストモダニズムは、言語という面に注目することで、歴史が前提とする連続的な時間を否定し、その「非時間性」から歴史を問い直そうとする点に特徴があったが、現代文学において出現しつつあるのは、時間性の否定ではなく、歴史とは別種の時間を物語が発動させることにより、反歴史的な物語を構成する、という試みである。こうした物語と時

間の関係性を取り上げることが、新たな創作の問いを理解するには不可欠である。

## 2. 研究の目的

本研究は、現代アメリカ文学において見られる「歴史」への問いを、物語行為が生み出す時間という観点から包括的に考察することを目的としている。ポストモダニズム論や Paul Ricouer ら、既存の視点との差異を明確にしながら、現代アメリカ小説における「反復」や「断片」、「記憶」といった主題を、時間性との関わりからとらえ、単なる作家論・作品論を越えて、現代文学の物語学とでも言うべき総合的な枠組みを構築することが目標である。

## 3. 研究の方法

物語とその時間が歴史を問うという全体の構想を、現代の批評理論と照らし合わせた上で、一つの枠組みとして提示する、という本研究において必要であるのは、個々のテクストを接続し、総合的な視点から現代アメリカ文学を横断する論考をまとめることである。そのため、複数の作家・作品の総合的検討が重要な位置を占めることになる。ただし、本研究は個々の作品を理論によって一般化するものではなく、あくまで個々のテクストにおけるスタイルや論理を横断していくなかで、現代アメリカ文学の物語学を浮かび上がらせるという手法を採用している。

## 4. 研究成果

本研究の位置づけについては、国内外の学会に広く問う機会を得た。特に、海外学会において発表を行った際には、新しい視点であるとの評価を受け、現代文学・芸術の研究学会への定期的な協力を要請された。また、本研究を含む研究プロジェクトが、アメリカ合衆国の出版社との単著契約を得たことも、成果の一つと言えるであろう。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 2 件)

1. 藤井光. 「The Land of the Freeway: ロサンゼルスとアメリカン・ロード」『北海道アメリカ文学』査読有, 27 号, 19-32 頁.
2. Hikaru Fujii. “Let the Story Begin: Cinematic Field and Narrative Act in Richard Powers’s *Prisoner’s Dilemma*.” *Doshisha American Studies*, 査読有, 46 号, 31-50 頁.

[学会発表] (計 1 件)

1. Hikaru Fujii. “Voices from Outside: The Case of Contemporary American Fiction.” *The Contemporary: An International Conference of Literature and the Arts*. 2011 年 6 月 25 日. Nanyang Technology University (Singapore).

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

藤井 光 (FUJII HIKARU)  
同志社大学・文学部・助教  
研究者番号: 20546668